

A O T
U n o f f i c i a l
F u n B o o k

.....
O U T R O

①⑧

Levi × Eren

君と彼と、

You and him



A O T
U n o f f i c i a l
F u n B o o k

.....
O U T R O

a n d b o y .

O U T R O



：そんなこと
言えっこ
ないけどね：

「兵長さんと
エレンは
有名なだ

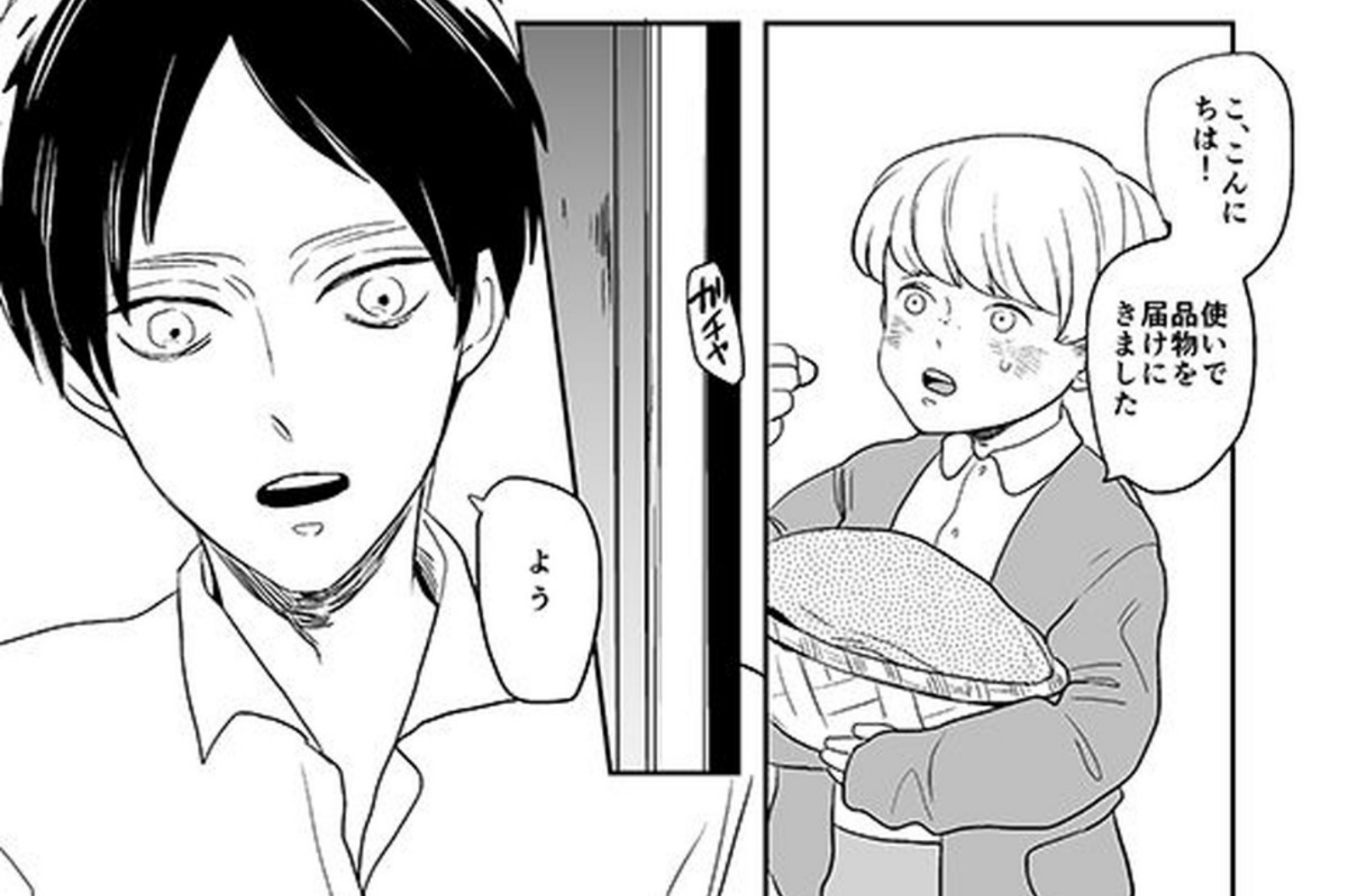
街外れの
丘の上にある
小さな家に
住んでいる

ほら坊や
あの人
兵長さんよ

柄
ゆる

巨人殲滅の功績を
たたえられ、
女王陛下直々に勲章を
いただいた
英雄だと父さんが
教えてくれた

キ
〇
〇







兵長さん
は怖くて
苦手だ



おい

お前が
持ってきた
もんだが



嫌いな
のか？



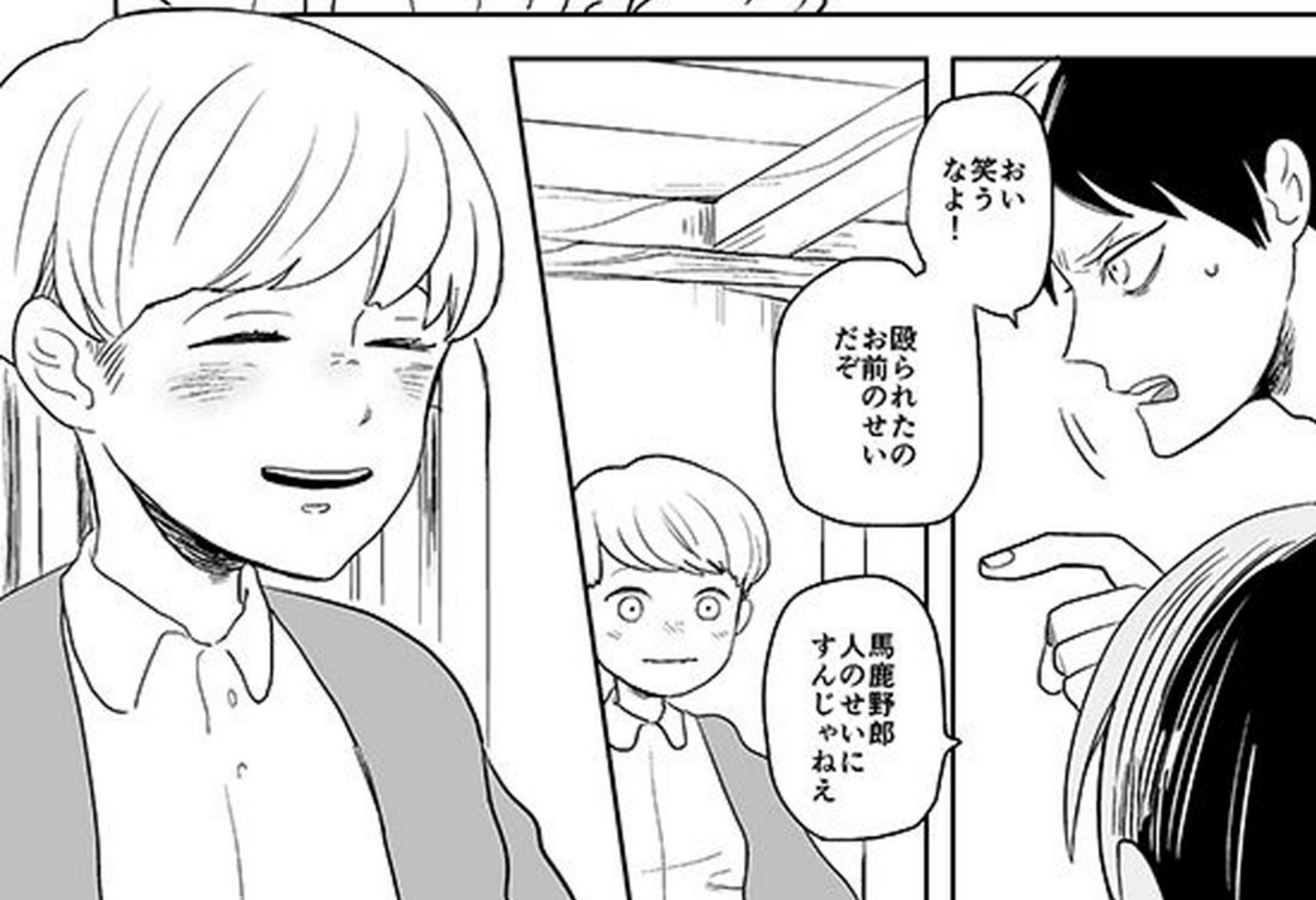
この
地域の
芋は
やわらか
いですね

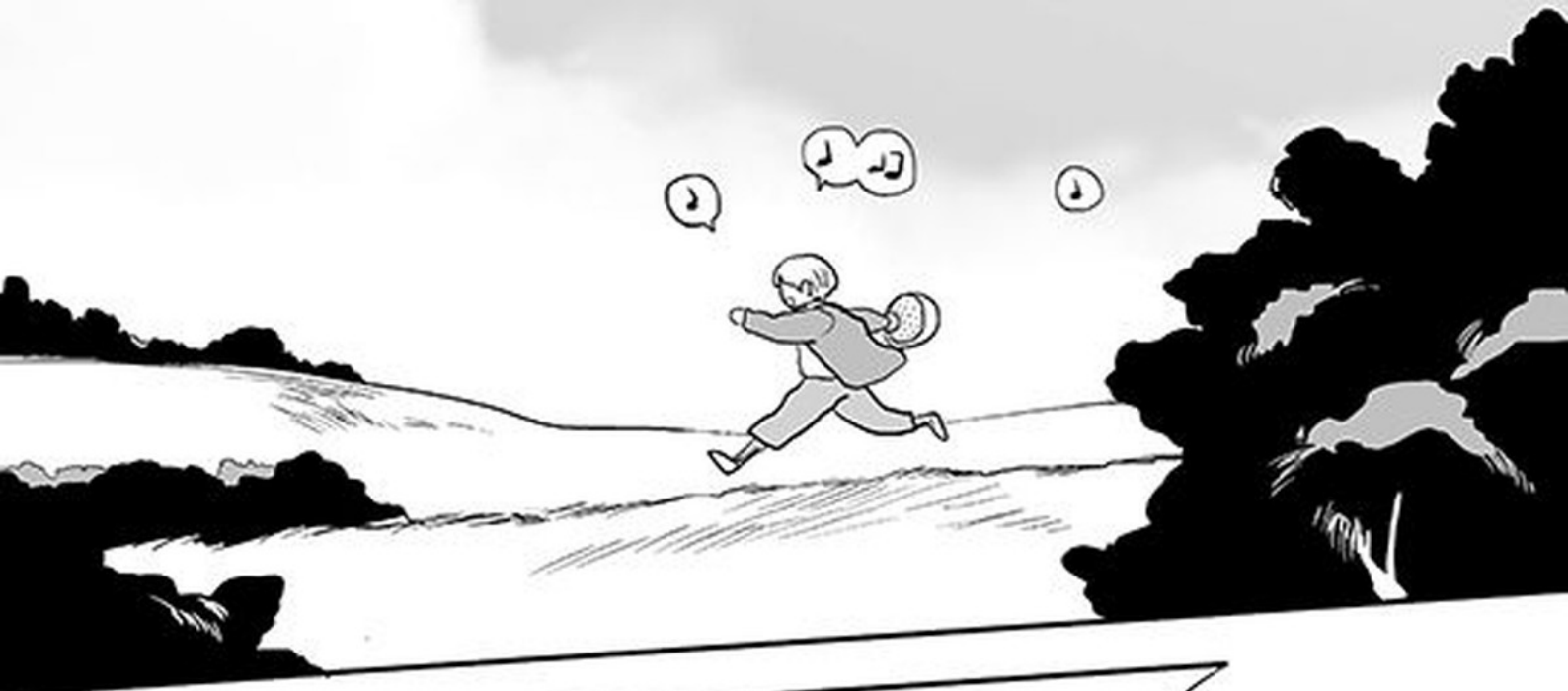
じゃが芋
ばかり？

品種が
違うらしい

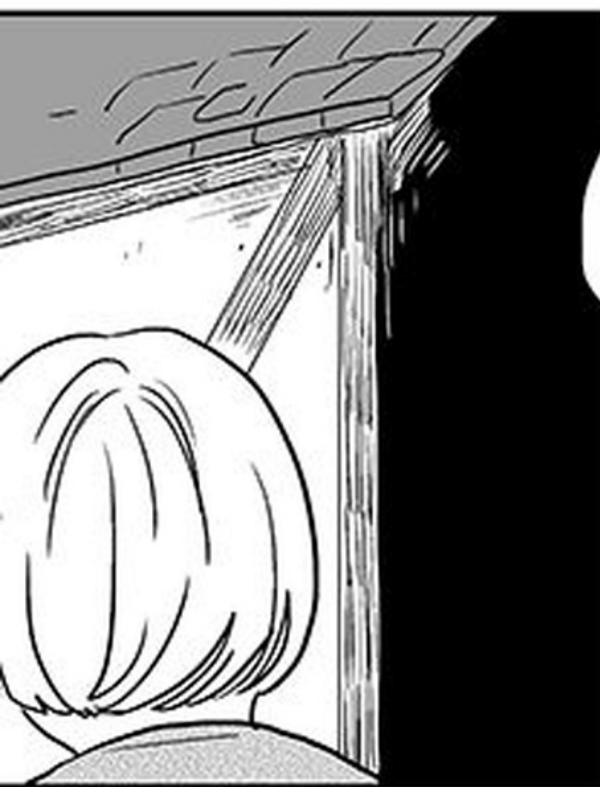
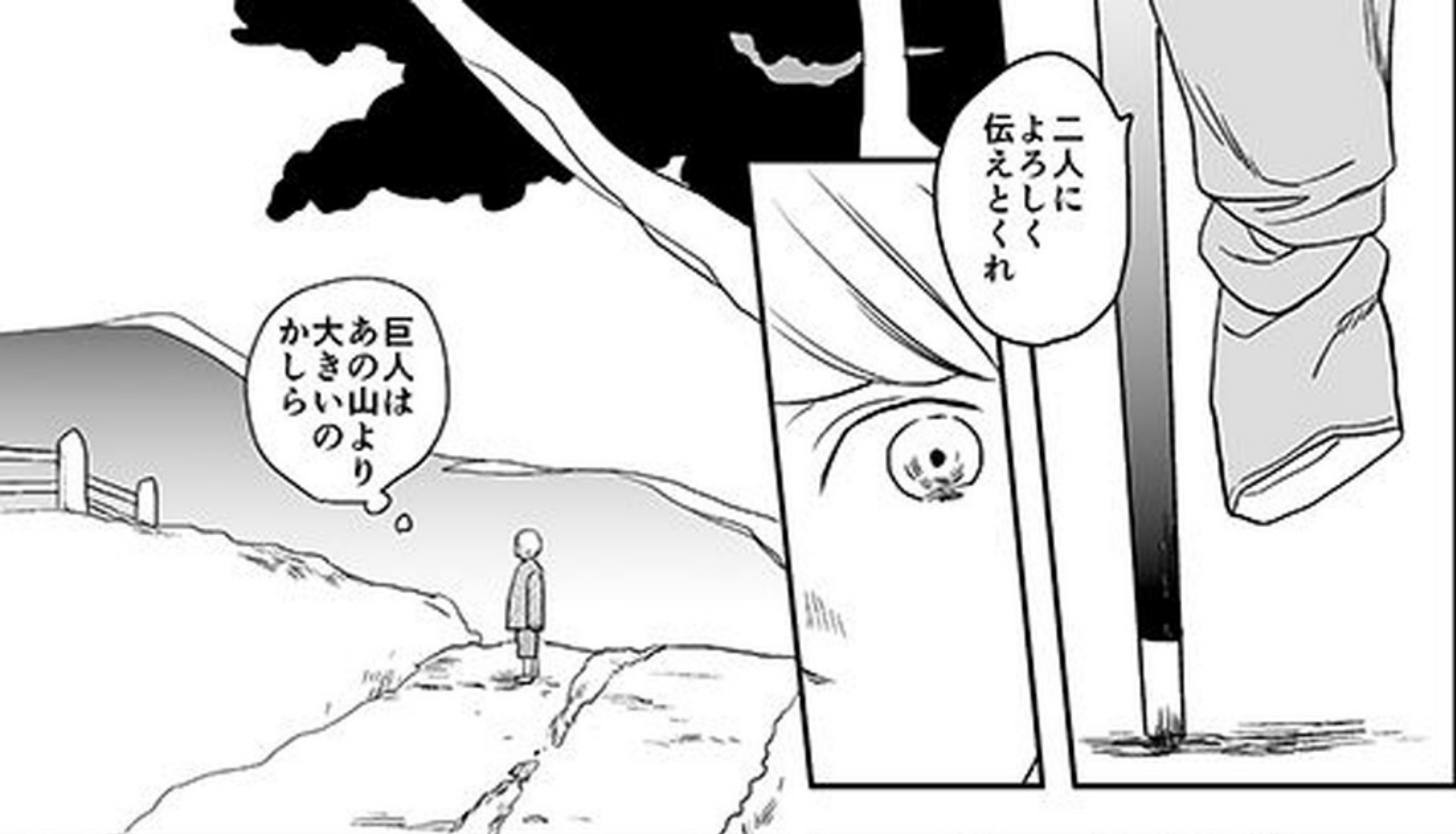
土が肥えて
いると育つ
種も違うん
だなあ

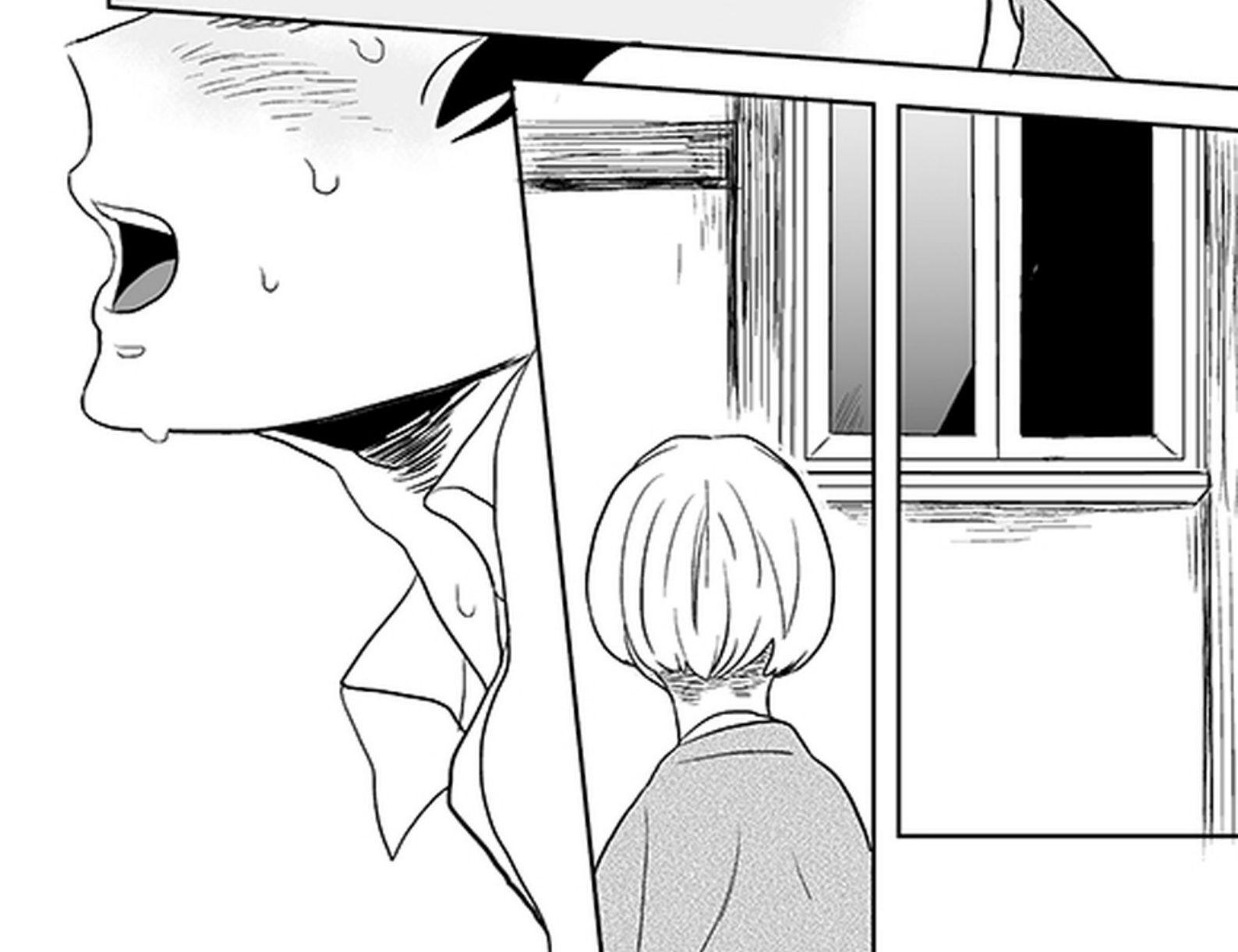
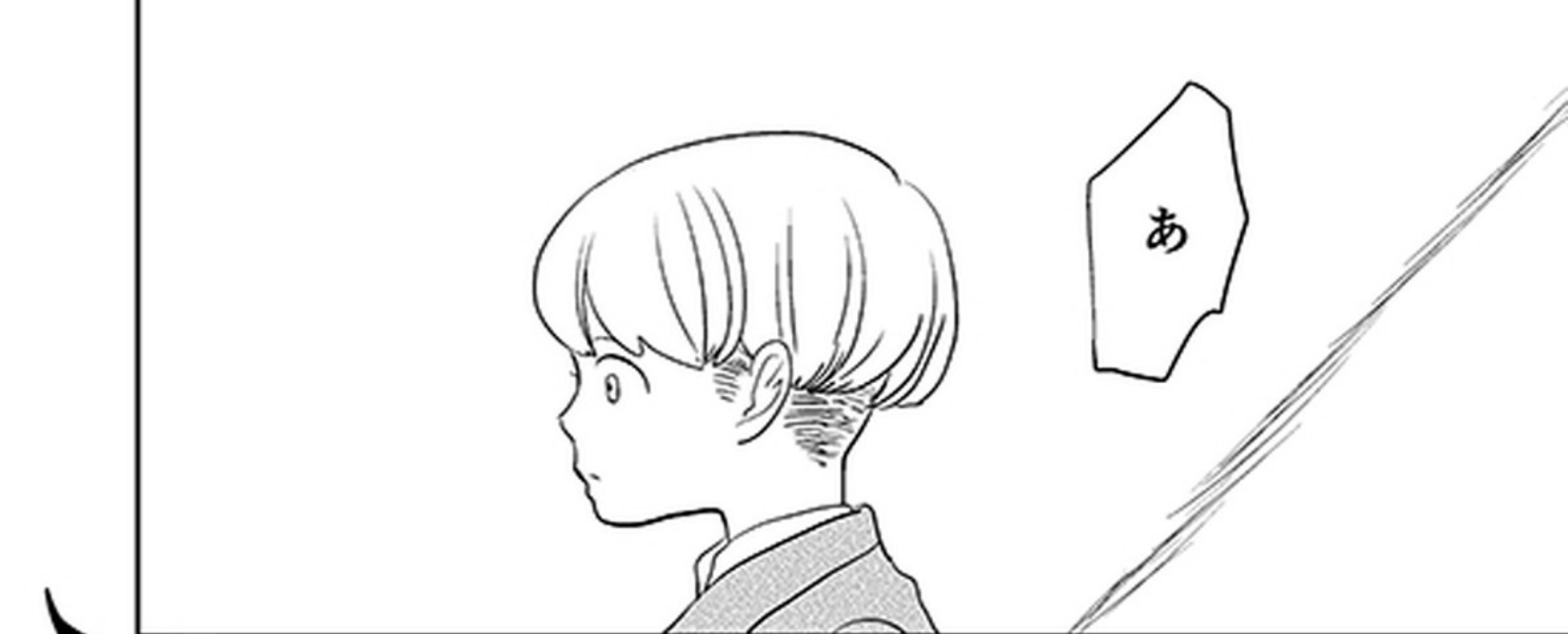














はあ

はあ

はあ

まって...

まだ

屋飯の
準備が

そんなに
後でいい

あ



仕方ない
人だな！



まだ
明るいのに

関係
ねえだろ

どうせ
二人
きりだ



最近
なかつた

...

へんげん...



兵長
じゃねえ



みんな
そう呼ぶ
からっ

あつ

あつ



すみま
せん...

街に
行く





どきん

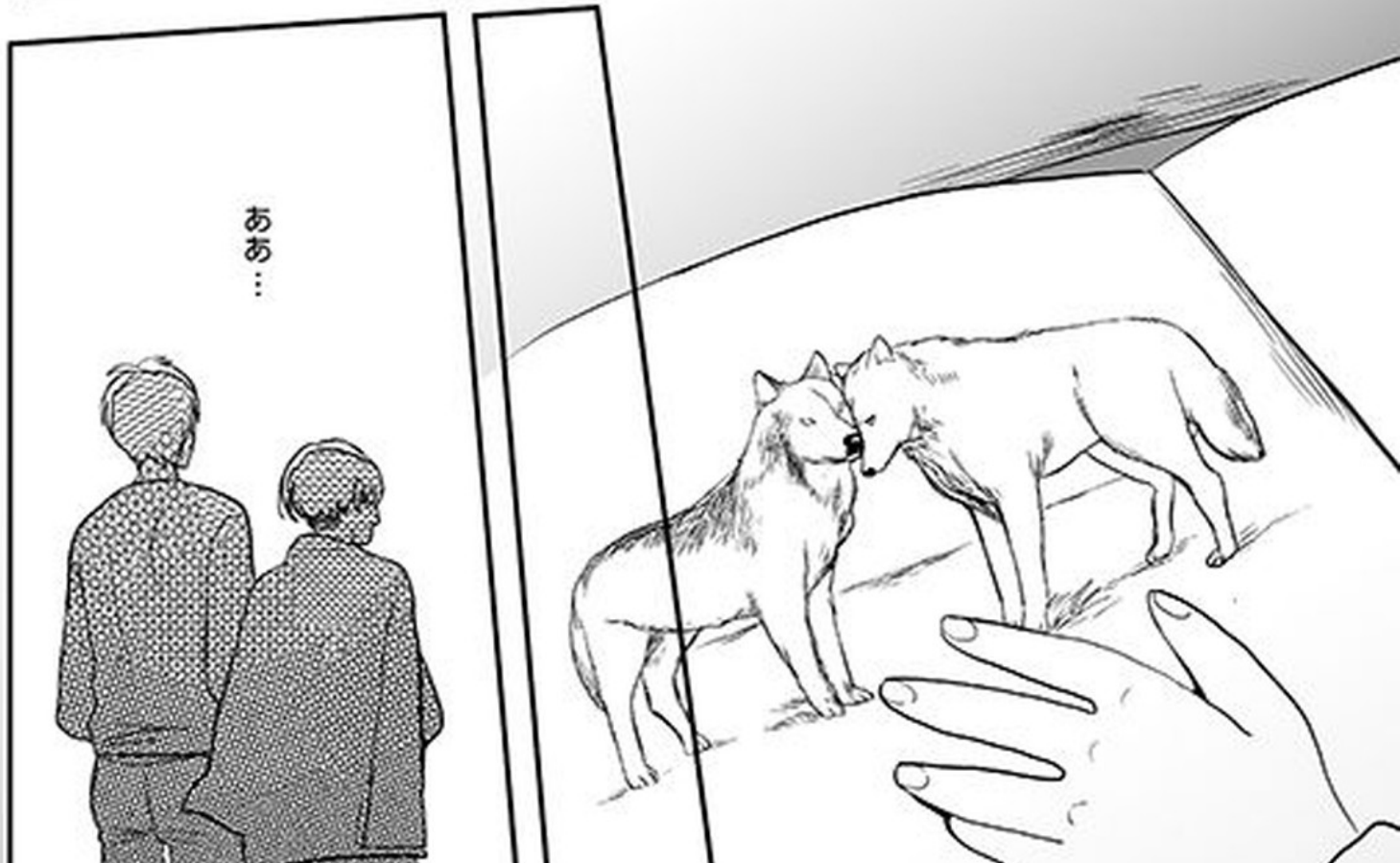
どきん


どきん














エレン
なら
留守だぞ




そういう
質はガキの
頃から変わら
ねえ




兵長さん
ごめん
なさい!



じきに
戻ると
思うがな

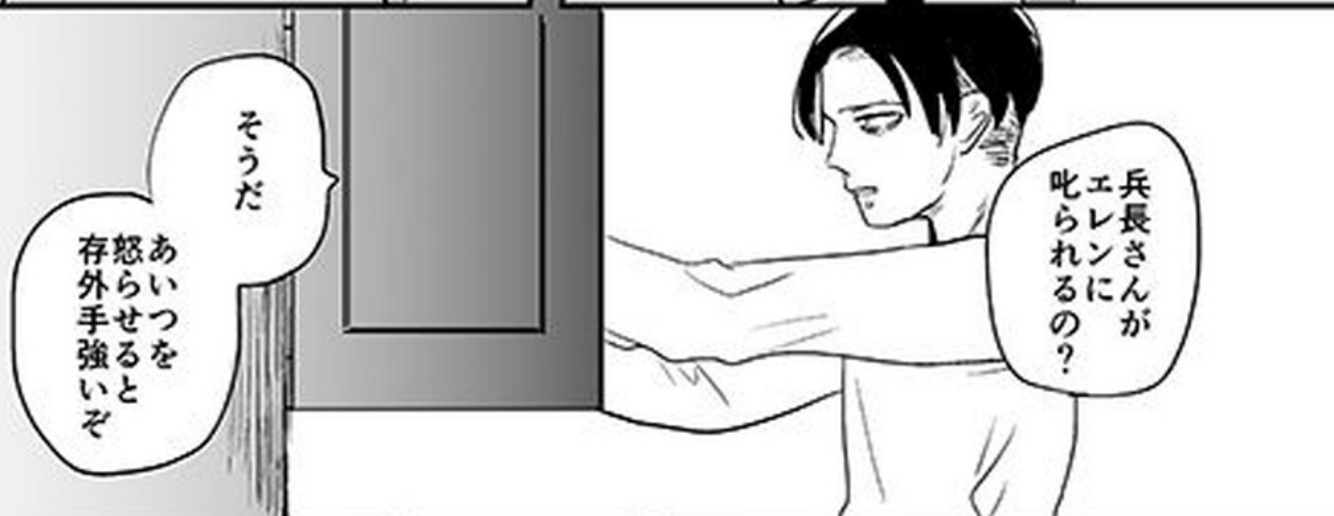


大方か
どっかで
油を売って
喧嘩を買
ってるか……



そいつは

この
あくだ……





遅かったな

市場で
捕まっちゃ
まって…

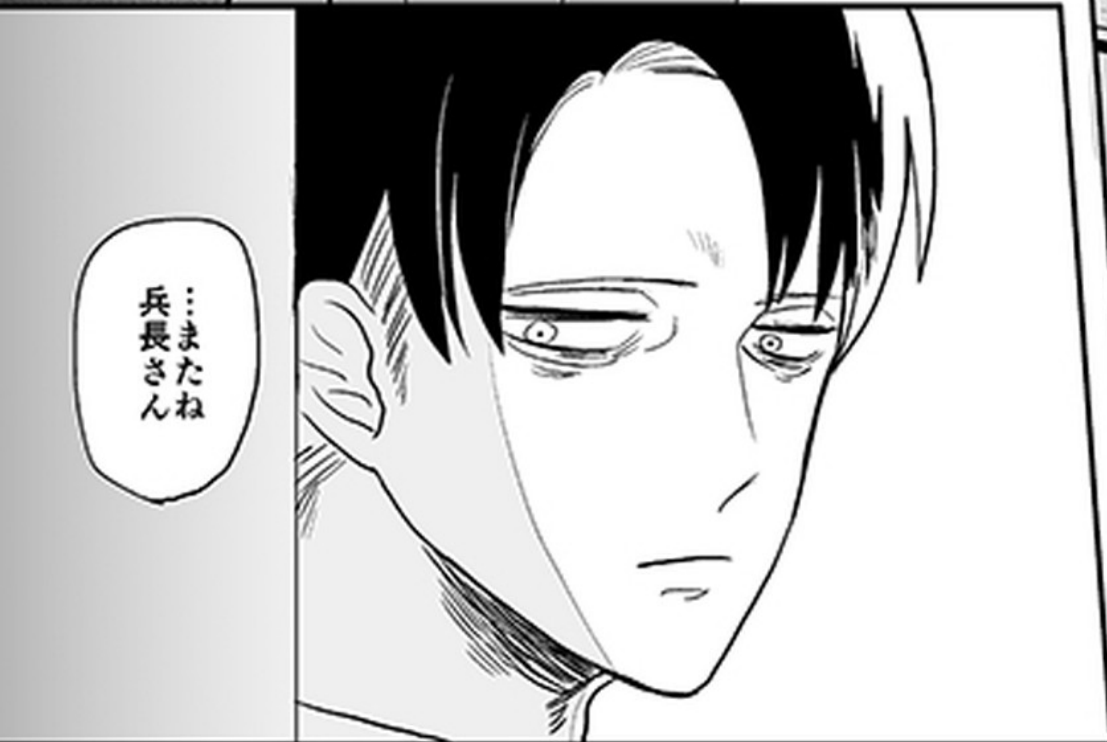
でも豆を
おまけして
もらいましたよ

お前も
手伝えよ
飯にするぞ

う、うん

兵長もここ
片しといて
くださいね

ん





うっ
さぶっ

夜は
いぶん
冷え込
むな

そりゃ
年の瀬
だもん

もう
そんな
時期か…



…楽しそう
でいいなあ



街ではもう
新年のお祝
いの準備し
てるよ

今年は大き
な花火を
するんだっ
て

へえ！



そう
だよ！

屋台も
でるし
みんな
で踊る
んだ

今年
はエ
レン
たち
も
きた
ら…



そろそろ
あの家を出るんだ




あ…

そう
なんだ



…次はどこへ
いくの


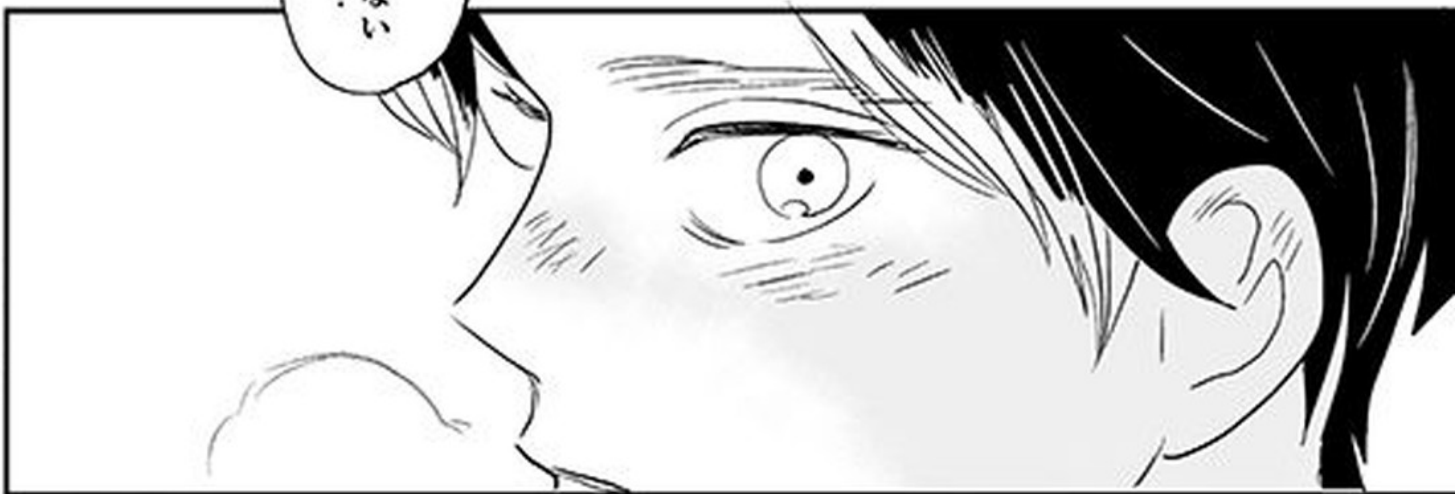
うーんそうだな
まだ決まっちゃ
ないが



しばらく
山暮らしく
だっだから
なあ

今度は
川辺で暮らすか
もつと北の方まで
行ってみるか？

もう
帰ってこない
んでしょ？



兵長さんとは、
はなれないでね



ふたりで...

ずっと
一緒に...

それから
ほどなく、
丘の上の家は
無人になった

あの家、
近々取り壊され
るらしいわよ

そう
なんだ

あらいいの？
アンタあんなに
しょっちゅう
通ってたのに

うん

ごち
そうさま

エレンと
兵長さんは
その後
新しい家に
住むことはなく

調査兵团へと
戻ったそうだ



二人の
おかげ
を
忘れない
ように


何か
残してお
けば
よかったな



ひとつ、脳裏に焼き付いているのはあの家の光景

幸せそうな二人の姿を思い描いては

とても温かい気持ちになる



今もそつで
あればいいと
思う